

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

科目名 教育の方法・技術

（ 2023年 12月 29日作成）

氏名 齋藤陽子 No.1

内容 （〇〇する 力がある） 事実、概念、 手続き、メタ認知	想起する	理解する	応用する	分析する	評価する	創造する
	（再認、再生）	解釈、例示、分類、推論、比較、説明	実行、遂行	比較、組織結果と原因	チェック、判断	生み出す、計画できる、汎化
1. 教育方法の歴史 ～教えと学びのパラダイムの交錯～	幼稚園教育要領・学習指導要領の転換が図られていることを理解し、説明することができる。	現在の幼稚園教育要領・学習指導要領において、重要視されている学習者の主体的に学ぶ態度（自律的な学び）について、具体例を示しながら説明できる。				
2. インストラクショナルデザイン	インストラクショナルデザインとは何か説明できる。	ADDIE モデルについて事例をあげて説明できる。				
3. 21世紀に求められる学力と学習環境	21世紀に求められる学力について説明できる。	資質・能力を引き出す授業の条件を説明できる。				
4. システム的アプローチによる授業の設計		システム的なアプローチ（システムズアプローチ）の意味を理解し、説明できる。		システムズアプローチの理論を基に、授業の設計の基本的な考え方を整理し、述べることができる。		
5. 授業の分析と設計		何を学ぶのか、そのための授業のあ		システム的な授業設計・開発の手順		

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

		り方について説明できる。		を5つに分けて説明できる。		
6. 学習目標のデザイン		ブルームの教育目標分類について、行動目標による例を取り挙げて説明できる。 ガニエの学習成果の5分類について、具体例を挙げて説明できる。	明確な学習目標について、研修を仮定し、具体的に説明できる。			
7. e-Learning の方法と技術		e-Learning とは、どのような学び方であるのか、そしてどのような特徴を持っているのかを、具体的な授業を例に、説明できる。				e-Learning を活用した授業を、具体的に立案できる。
8. ハイブリッド型授業の方法と技術		ハイブリット型授業について具体的に説明できる。				ハイブリット型授業で授業設計ができる。
9. 魅力ある研修をつくる	魅力ある研修をつくる講師の指導力について説明できる。	ガニエの9教授事象について具体例をあげて説明できる。				
10. 学習意欲を高める	学習意欲を高める指導法について説明できる。	ジョン・M・ケラーの ARCS モデルについて具体的に説明できる。			アンドラゴジーをもとにして学校式教育から大人の学び支援について、その違いを具体的に説明できる。	
11. 協働的な学びをデザインする	ジグソー学習について説明できる。	ワークショップの手法を5種類説明できる。				協働学習の考え方を理解し実際に授

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

12. 新たな学びと教育リソース		反転授業について具体例を挙げて説明できる。			業デザインできる。 反転授業について具体的に授業設計ができる。
13. 行動変容のモニタリング技法	行動変容を評価する方法について説明できる。	行動変容とは何か具体例を挙げて説明できる。		行動変容を起こすための仕掛けには何が必要か説明できる。	
14. 「教えないで学べる」という新たな学び		「教えないで学べる」とはどのようなことか具体例を挙げて説明できる。			「教えないで学べる」という新たな学びの設計ができる。
15. 学びの改善			学びを記録して、分析・振り返ることを実践できる。		学びを改善する意義を、自分にとってとして捉え、生み出すことができる。